



## 第46回栃木県オリエントセミナーの開催案内

栃木県オリエント協会  
栃木県文化協会

昨年2月に日本国内で「新型コロナウイルス」感染者が確認してから1年半。政府は、9月30日、新型コロナのワクチン1回接種率が全国民の70%、2回が60%(10月1日現在厚労省調べ)となり感染者数も激減したことにより、全国一斉に「緊急事態宣言」を解除しました。当協会の催事も大きな影響を受け、2019年5月の「第45回栃木県オリエントセミナー」開催以来2年延期。さらに例年5月の開催を11月開催に再延期し、2年半経っての「第46回県オリエントセミナー」の開催となりました。

今年のセミナーの第1講は、古代オリエント歴史学者で、シュメル学の専門家である小林登志子先生に、昨年10月発行した冊子の『古代メソポタミア全史—シュメル、バビロニアからサーサーン朝ペルシアまで』と題し、5500年前のメソポタミアに人類初の文明が誕生した時から、イスラームの登場までの4000年間の興亡などお話していただきます。第2講は、古代オリエント博物館主任研究員で、トルコのアンカラ郊外のカマンカレホック遺跡などでの発掘に参加した津本英利先生に『ヒッタイト帝国滅亡の謎—最近のトルコでの発掘調査成果から—』と題し、暗黒の時代と呼ばれたBC12世紀からBC8世紀とヒッタイト帝国の滅亡との関係など発掘調査結果を主に講演していただきます。

今年のセミナーは、以前にもまして心に残る充実したセミナーにしたいと思っています。会員の皆様はもちろん、高校生・大学生・一般の方々にもご来場いただき「歴史は何を繰り返したか」「歴史から何を学ぶか」など、オリエント史を学びながら、激動する日本はもちろん、ますます目の離せなくなった「オリエント諸国」に対する見る目を広めていただければ幸いです。

No.	期 日	演 題		講 師
第一講	11月13日(土) 14:00~16:00	「古代メソポタミア全史」 —シュメル、バビロニアから サーサーン朝ペルシアまで—		日本オリエント学会会員 小林登志子 先生
第二講	11月20日(土) 14:00~16:00	「ヒッタイト帝国滅亡の謎」 —最近のトルコでの 発掘調査成果から—		古代オリエント博物館主任研究員、日本オリエント学会会員 津本 英利 先生

◎会 場／栃木県立博物館講堂 宇都宮市睦町 2-2(栃木県中央公園内)

◎受 講 料／一般5,000円、栃木県オリエント協会会員・栃木県文化協会会員2,000円、学生1,000円

◎主 催／日本オリエント学会、栃木県文化協会、下野新聞社、栃木県立博物館、栃木県オリエント協会

◎後 援／栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木放送

◎募集人員／定員100名(定員になりしだい締め切ります)。

◎申込要領／各協会へ電話、FAX等で住所、氏名、電話番号を連絡し申し込んで下さい。受講料はセミナー当日、会場受付でお支払下さい。お問合せと申し込みは、月曜～金曜(祭日除く)の午前9時から午後5時までをお願いします。

◎申込み先／栃木県オリエント協会 〒321-0974 宇都宮市竹林町 321-35 菅家 繁 方

TEL028(622)2684(FAX兼)番

栃木県文化協会 〒320-8530 宇都宮市本町 1-8 栃木県総合文化センター内

TEL028(643)5288 FAX028(643)5296

\*お車でご来館する方は、県博北駐車場が台数に制限はありますが利用できるようになりました。